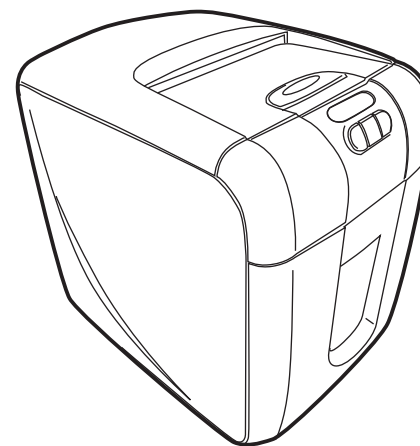




取扱説明書

オートフィードシュレッダ マイクロ
130AFM



アコ・ブランド・ジャパン株式会社

このたびは弊社オートフィードシュレッダをお買い求めいただき、ありがとうございました。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、
未永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書は必ず保管してください。

1・	内容物の確認	1
2・	ご使用上の注意	2
3・	各部の名称と働き	5
4・	ご使用の前に	7
	細断能力	7
	インターロックスイッチ	7
	機能説明	8
	注意事項	8
5・	ご使用方法<オートフィードモード>	9
	オートフィードできないもの	9
	オートフィードモード(自動給紙細断)	10
	紙詰まりを起こした時(オートフィードモード時)	12
6・	ご使用方法<ノーマルモード>	13
	細断不可アイテム	13
	ノーマルモード(手差し細断)	14
	紙詰まりを起こした時(ノーマルモード時)	16
7・	ゴミを捨てる時	17
8・	お手入れ方法	19
	オートフィードローラーのクリーニング	20
	オートスタートセンサー(オートフィード)のクリーニング	20
	カッターのメンテナンス	20
9・	こんな時は	21
10・	製品仕様	23
	保証とサービス(保証書添付)	

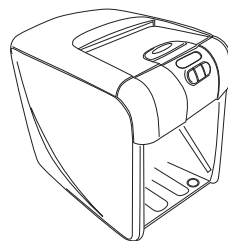
お客様へ

- ★小さなお子様自身の使用、または小さなお子様がいらっしゃる環境での使用は絶対にしないでください。また使用後は必ず主電源スイッチを切り、電源プラグも抜いてください。
- ★本機は製造途中において細断テストを含む製品検査を実施しております。細断テストの後、細断くずの除去を行っておりますが、カッターなどに付着した細断くずが輸送途中の振動などにより落下し、くず箱や本体に残っている場合があります、あらかじめご了承ください。
- ★傷つきやすい床やフローリングでは本体を引きずったりしますと傷がつく場合があります。本体を敷物の上に置く等してご使用ください。

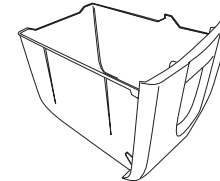
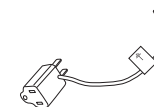
1・内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品が同梱されています。

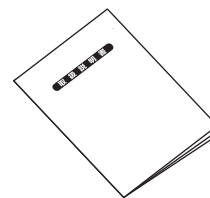
マシン本体



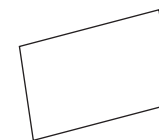
ダストボックス

電源アダプター
(アース端子付)

取扱説明書(保証書付き)



シュレッダ使用時の注意書き



※お手元に置いてご使用になることをお勧めします。

2・ご使用上の注意

表示の意味

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告



絶対に可燃性のスプレー式潤滑剤をシュレッダ機構部に噴霧したり、エアゾールを紙投入口から噴霧しないでください。

シュレッダの紙投入口、カッター部、ダストボックス等にスプレー噴霧した場合、シュレッダ内部に可燃性ガスが滞留し、シュレッダのON-OFFスイッチの切り替え接点の火花、静電気の火花、内部モーター整流子の火花等に引火して、火災や爆発を引き起こす恐れがあります。機械の清掃や機構部の注油が必要な場合は、取扱説明書をご覧になるか、弊社にお問い合わせの上、危険のない正しいやり方で行ってください。(万一、事故が発生し、火傷を負った場合は、すぐに患部を氷水等で冷やしてから医師の手当てを出来るだけ早く受けてください。)

お手入れの際に可燃性スプレーを使用しないでください。内部にガスがたまり、引火の危険性があります。

危険ですので、お子様には絶対に使用させないでください。
※マシン内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。

危険ですので、カッター部には手を触れないでください。また、投入口や排出口には指を入れないでください。
※マシン内部にカッターがあり、けがをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・衣類が引き込まれないようにしてください。
※けがをする原因になる恐れがあります。
万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。

10・製品仕様

商品名	オートフィードシュレッダ マイクロ 130AFM
品番	130AFM
細断物	紙
投入幅	220 mm (A4)
細断サイズ	マイクロクロスカット (2×15 mm)
最大細断枚数	6 枚
定格細断枚数	6 枚
最大細断給紙枚数	130 枚 (オートフィード時)
定格運転時間	10分運転
細断速度	1.6 m/分 (50Hz)、2.0 m/分 (60Hz)
サイズ(W) x (D) x (H)	310 × 445 × 435 mm
質量 kg	13.5 kg
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
定格消費電力	250 W

最大細断枚数：
10回連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90%以上)

定格細断枚数：
定格時間連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90%以上)

定格運転時間：
定格細断枚数を連続して細断できる運転時間です。

現象	原因	対処法（参照ページ）
手差し細断できない	<p>◇オートフィードモードで細断中ではありませんか？</p> <p>◇紙を多く入れすぎていませんか？</p> <p>◇細断するものが投入口中央を通過していますか？</p> <p>◇投入口の奥まで投入していますか？</p> <p>◇紙を斜めに入れていませんか？</p>	<p>オートフィードモードで作動時に、同時に手差し細断することはできません。終了してから手差し細断し直してください。（8ページ）</p> <p>細断できる枚数をご確認ください。紙を取り除き、最大細断枚数以下に分けて分けて細断してください。（7ページ）</p> <p>投入口中央にあるオートスタートセンサーを通過するように投入してください。小さなサイズの紙はトップカバーを開き、紙細断用投入口に直接セットし、トップカバーを閉じることで細断できます。（14・15ページ）</p> <p>投入口の構造上入りにくくなっています。紙を立てた状態にして投入口の奥深くまで投入してください。（15ページ）</p> <p>手動逆転ボタンを押して紙を引き出し、再度まっすぐに投入し直してください。（16ページ）</p>
オートフィードが作動しない	◇オートフィードモードで運転が止まらない	冬季等の乾燥期や気密性が高い室内等の環境下で使用する場合、発生しやすくなる静電気の影響により「オートスタートセンサー」が反応しない可能性があります。「オートスタートセンサー」を綿棒等で清掃してください。（20ページ）
ゴミが散らかる	<p>◇ダストボックスがすぐゴミで満杯になってしまう</p> <p>◇ゴミを捨てる時、ゴミが溢れて散らかってしまう</p>	<p>細断を開始する前にダストボックスを引き出し、ゴミを処分してください。オートフィード時には、MAXのラインを超えないように注意して、紙をセットしてください。（10・11ページ）</p> <p>細断終了後、ダストボックスを前後に揺らしてから取り出すと、ダストボックス内のゴミが均されて、外に溢れにくくなります。（17ページ）</p>



髪が引き込まれないようにしてください。

※けがをする原因になる恐れがあります。

万一引き込まれた時は電源を切って、引き込まれた部分と引き込まれなかった部分の境で切り離してください。次に、電源を入れて逆転作動させて引き込まれたものを取り除いてください。引き込まれたまま電源を切らずに、逆転作動させたり、無理に引き戻すことは絶対に避けてください。



濡れた手で電源プラグを扱わないでください。

※感電の恐れがあります。



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



ご自分で分解、改造、修理をしないでください。

※感電や思わぬけがをする恐れがあります。



万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用中を中止して、電源プラグを抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。

⚠ 注意



本機は紙類の細断専用機です。他の目的に使用しないでください。

※故障の原因となります。

★OHPシート・カーボン紙・ノンカーボン紙・厚紙・通帳の表紙・封筒(糊がついているため)・ポリ袋・布・ビニール・フィルム・ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは細断には適しません。投入しないでください。

★クリップ・ピン・ステープル等は必ず取り除いてから投入してください。
針をつけたままの細断はステープル10・11号針以外はできません。(オートフィードモードのみ)



トップカバー後部には手や物を置かないでください。

※カバーの開閉時に生じるすき間に入ると、負傷したり、マシンの故障の原因となります。



本機は重心が高い位置にありますので、転倒に注意してください。

水平で安定した場所に設置してください。

※けがをする原因になる恐れがあります。

操作中に転倒したときは、必ず電源を切って適切に処理してください。



本機の上に物をのせたり、腰掛けたり、のったりしないでください。

※けがをする原因になる恐れがあります。



冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



本機に水などをかけないでください。

※火災、感電の恐れがあります。



ゴミを捨てる時、ご使用にならない時、移動する時は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いてください。

※火災、感電の恐れがあります。



必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの近くにものをおかないでください。



電源は必ずAC100V 電源をご使用ください。タコ足配線はしないでください。

※火災、感電の恐れがあります。

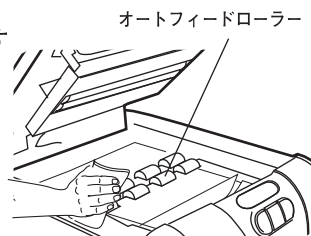
9・こんな時は

現象	原因	対処法 (参照ページ)
動かない	<p>◇電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？</p> <p>◇電源が入っていますか？</p> <p>◇トップカバー&ダストボックス開/細断くず満杯ランプが点灯していますか？</p>	<p>電源プラグを正しくコンセントに入れてください。(10・14ページ)</p> <p>マシン背面にある主電源スイッチを“入(1)”にしてください。(10・14ページ)</p> <p>電源入/切ボタンを押してしてください。 電源入/切ボタン(青)の点灯を確認してください。(10・14ページ)</p> <p>トップカバーまたはダストボックスがしっかり閉まっていませんとこのランプが点灯して、作動しません。奥まできちんとセットしてください。(8・17ページ)</p> <p>ダストボックスのゴミが満杯になりますと、このランプが点灯して停止します。ダストボックスのゴミを捨ててください。(17ページ)</p>
細断中に止まった	<p>◇過投入/紙詰まりランプ点灯していますか？</p> <p>◇オーバーヒートランプが点滅していませんか？</p>	<p>適正細断枚数以上の紙やカードを細断した場合や、紙詰まりを起こした場合、トラブルを防ぐために過投入/紙詰まりランプが赤色に点灯して細断を拒否します。(12・13ページ)</p> <p>通常の使用を超えて連続細断したり、紙がかみこんだ状態で放置しますと、モーター保護のため自動的に停止します。電源プラグを抜き、約60分冷却してください。再び使用することができます。(8ページ)</p>
オートフィード細断できない	<p>◇オートフィードトレイに紙が残ってしまう</p> <p>◇ステープラーで綴じた書類が詰まってしまう</p>	<p>規定以外の紙厚・細断不可物・オートフィードできないものが感知されたました。紙を取り除きいてください。(9・12ページ)</p> <p>規定内の枚数(25枚以下)か確認してください。また、ステープル針の下部分(隙間のある側)が下になるようにセットし直してください。(9ページ)</p>

オートフィードローラーのクリーニング

オートフィードトレイ中央に4対のオートフィード用のローラーがあります。長くご使用されておられますと、ホコリの付着等によりオートフィードに支障をきたす場合があります。

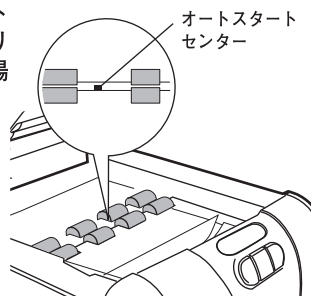
乾いた布でローラーのホコリの付着を落としてください。



オートスタートセンサー(オートフィード)のクリーニング

本機には、光方式のオートスタートセンサー(オートフィード)が装備されています。長くご使用されておられますとホコリの付着等によりまれに誤動作を起こす場合があります。

レンズ部分を綿棒等でホコリの付着を落としてください。

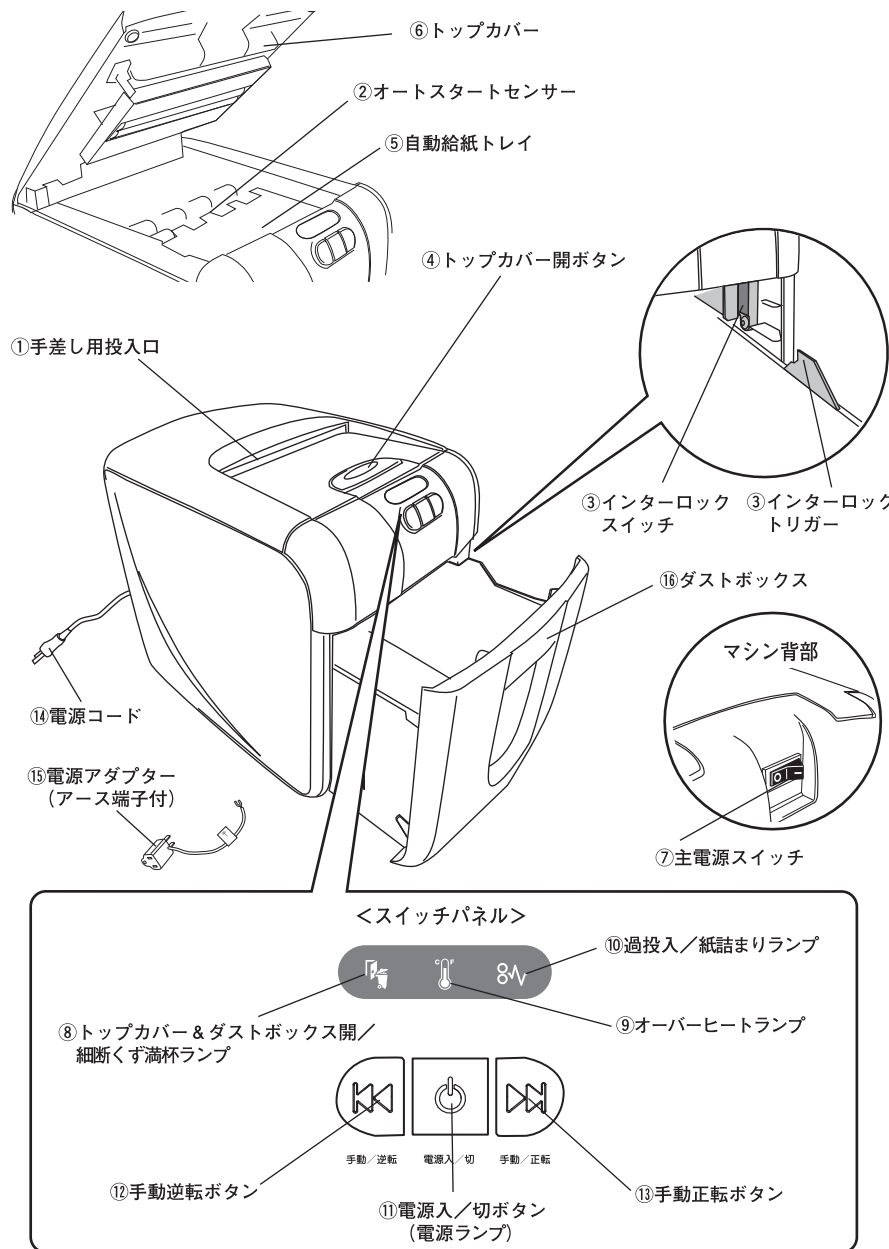


カッターのメンテナンス(メンテナンスシート)

カッターの性能を持続するために、シュレッダに投入するだけで簡単に使用できるメンテナンス用潤滑油「シュレッダ用メンテナンスシート(別売)」を利用することをお薦め致します。



3・各部の名称と働き



① 手差し用投入口

ノーマルモード(手差し細断)時の手差し用投入口です。紙以外の投入は絶対に避けてください。

② オートスタートセンサー

投入口中央にあるセンサーを通過しないと、カッター/モーターは自動正転しません。

③ インターロックスイッチ/トリガー

キャビネットにダストボックスがきちんとセットされていない場合は、安全のために本機は作動しません。万一の場合は、ダストボックスを引き出すとモーターは停止しますので、非常停止手段として使用可能です。

④ トップカバー開ボタン

ボタンを押して、トップカバーを開けます。

⑤ 自動給紙トレイ

オートフィードモードで細断する場合、細断する紙をこの自動給紙トレイにセットしてください。セットされた紙は紙細断用投入口に送られ、自動的に細断されます。

⑥ トップカバー

自動給紙トレイにセットされた紙を押さえます。トップカバーを開ける場合はトップカバー開ボタンを押してください。トップカバーを閉めると8秒間正転します。

⑦ 主電源スイッチ

マシン背面にある主電源スイッチを押して、電源を入(I)/切(O)にします。主電源スイッチを“入(I)”にし、電源入/切ボタンを押すと、電源ランプ(青)が点灯します。使用しない場合は、必ず電源を切ってください。

⑧ トップカバー&ダストボックス開/細断くず満杯ランプ

トップカバーとダストボックスがしっかり閉まっていないと、このランプが赤色に点灯して作動しません。ダストボックスを確認してください。また、細断くずが満杯になると、自動でカッターが停止し、このランプが赤色に点灯して知らせます。ダストボックスのゴミを捨ててください。

⑨ オーバーヒートランプ

連続運転を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オートカットオフ機能が働き、オーバーヒートランプが赤色に点滅して自動的に停止します。約60分後モーターが冷却され、ランプが消灯して再度使用することができます。

⑩ 過投入/紙詰まりランプ

適正細断枚数以上の紙やカードを細断した場合や、紙詰まりを起こした場合、トラブルを防ぐために過投入/紙詰まりランプが赤色に点灯して異常を知らせます。

⑪ 電源入/切ボタン(電源ランプ)

電源入/切ボタンを押すと電源が入り、このボタン(青)が点灯します。手差し細断時では、オートスタート機能が働き、紙がオートスタートセンサーを通過することにより自動的に正転作動・停止します。

⑫ 手動逆転ボタン

手動逆転ボタンを押している間だけ、カッターは逆転作動します。

⑬ 手動正転ボタン

手動正転ボタンを押している間だけ、カッターは正転作動します。

⑭ 電源コード

必ずAC100Vのコンセントに接続して使用してください。タコ足配線は避けてください。

⑮ 電源アダプター(アース端子付)

電源コードをしっかりと差し込み、コンセントに接続して使用してください。

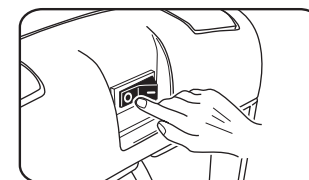
⑯ ダストボックス

本体にセットしてご利用いただく専用の紙用ダストボックスです。

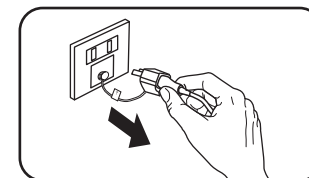
電源入/切ボタンがオンになった状態で、ダストボックスを引き出した後セットし直した時、8秒間正転します。

8・お手入れ方法

① 主電源スイッチを“切(O)”にしてください。

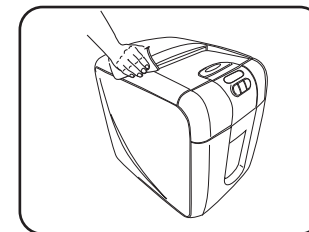


② 電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜き、アース端子を取り外してください。



③ やわらかい布でから拭きをしてください。

※お手入れはマシン本体の外部樹脂部とキャビネットだけにしてください。



★汚れがひどい時は、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。

※シンナー・ベンジン等化学薬品は変色・変形・傷などの原因となりますので使用しないでください。



警告



ご自分で分解、改造、修理を絶対にしないでください。
※感電や思わぬけがをする恐れがあります。

★ゴミを捨てる時に、インターロックスイッチ／トリガーを破損しないように
ていねいにお取り扱いください。

★細断クズは地域の指定に従って処理しましょう。

ダストボックスの窓の8分目まで細断くずが到達したら、早めにゴミを捨ててください。
巻き込み等故障の原因となります。

4. ご使用の前に

細断能力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

<手差し細断(ノーマルモード時)>

種類	摘要	カットタイプ	最大細断枚数	定格細断枚数
紙 類	A 4 (コピー用紙 64g/m ²)	マイクロクロスカット (2×15mm)	6枚 (50Hz)	6枚 (50Hz)
			6枚 (60Hz)	6枚 (60Hz)

<最大給紙可能枚数(オートフィードモード時)>

紙 類	摘要	カットタイプ	最大給紙可能枚数
紙 類	コピー用紙 (64g/m ² - 80g/m ²)	マイクロクロスカット (2×15mm)	約130枚 (50/60Hz)

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。

最大細断枚数：

10回連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90%以上)

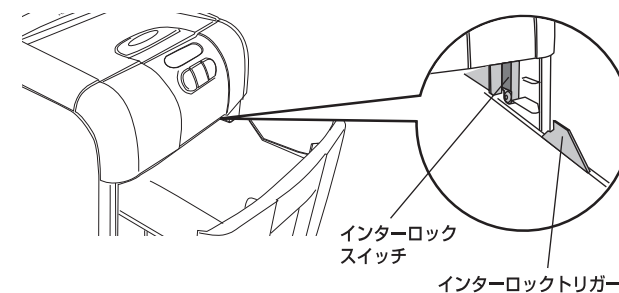
定格細断枚数：

定格時間連続で細断することができる枚数。(64g/m²・A4コピー用紙、細断率90%以上)

インターロックスイッチ

ダストボックスとトップカバーがきちんと閉じられていない場合は、安全のために本機は作動しません。

正しくセットされていない場合は、トップカバー & ダストボックス開／細断くず満杯ランプが赤色に点灯して知らせます。



機能説明

—オートカットオフ機能—

本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働きます。連続運転(10分以上)を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置しますと、オーバーヒートランプが赤色に点滅し自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は、必ず電源を切りそのまま冷却してください。約60分後には再び使用することができます。電源を切りませんと、復帰後、急にカッターが回転して大変危険です。



—オートシャットオフ機能—

本機は省エネルギー・安全性のため、約2分間以上細断物を何も投入しないと、自動で電源オフになります。電源を再度入れる場合は、電源入/切ボタンを押してください。



—トップカバー&ダストボックス開警告機能—

本機は安全のため、トップカバーが開いている状態、ダストボックスがセットされていない状態では作動しません。トップカバー&ダストボックス開/細断くず満杯ランプ(赤)が点灯して知らせます。しっかりセットし直してください。



注意事項

—オートフィードモードとノーマルモード—

オートフィードモードとノーマルモード(手差し細断)を同時に行うことはできません。故障の原因となりますので、細断しているものが終了してから細断してください。

ダストボックスの窓の8分目まで細断くずが到達したら、早めにゴミを捨ててください。巻き込み等故障の原因となります。

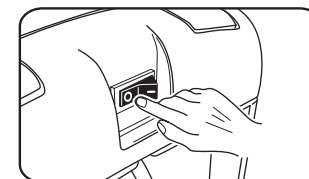
7・ゴミを捨てる時

—細断くず満杯検知システム—

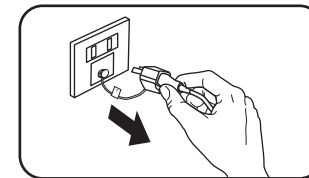
本機には、細断くず満杯検知フラップが装備されています。ダストボックスが満杯になると、トップカバー&ダストボックス開/細断くず満杯ランプ(赤)が点灯して、細断くずが満杯であることを知らせ、細断ができなくなります。ダストボックスにたまったゴミを処分してください。



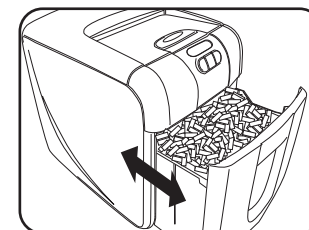
- ①主電源スイッチを“切(O)”にしてください。



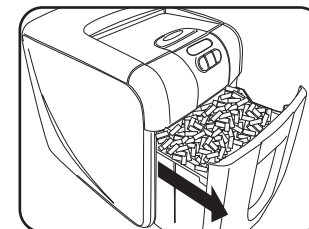
- ②電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜き、アース端子を取り外してください。



- ③ダストボックス内のゴミが満杯に近い状態の時は、細断終了後、ダストボックスを前後に揺らしてからダストボックスを取り出すとゴミが均されて外にあふれにくくなります。



- ④ダストボックスを本体から引き出し、ゴミを処分してください。

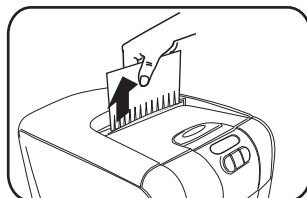
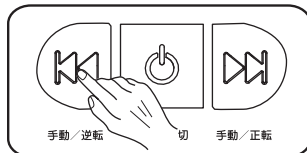


紙詰まりを起こした時（ノーマルモード時）

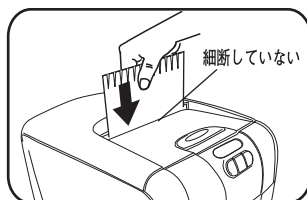
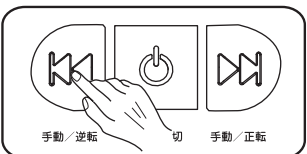
過投入／紙詰まりランプ(赤)が点灯した場合は、下記手順で詰まったものを引き出してください。

8V

- ① 手動逆転ボタンを押しながら、詰まった紙を引き出してください。手動逆転ボタンを押している間、カッターは逆転作動し続けます。



- ② 一度の操作で紙詰まりが解消しない場合は、手動正転ボタンを押した後に、再度手動逆転ボタンを押してください。



- ③ 詰まった紙の量を減らして、細断していない方向から投入口にまっすぐに入れ、細断し直してください。

⚠ 注意



モーター保護のため、過度に正転⇄逆転を繰り返さないでください。故障の原因となる場合があります。

必ず最大細断枚数を守ってご使用ください。

紙詰まりを起こしたまま放置しないでください。

※故障をする原因になる恐れがあります。

5. ご使用方法<オートフィードモード>

—オートフィードできないもの—

下記のものについてはオートフィードモードで細断しないでください。故障の原因となります。

✕ オートフィード不可事項	対処方法
☆10・11号針以外のステープルを使用した書類	☆ステープルを外してセットしてください。
☆25枚以上をステープルで綴じた書類	
☆2ヶ所以上ステープルで綴じた書類	

<注意事項>

☆ステープルで綴じた書類を細断する場合 留めた針の隙間が下になるようにセットしてください。
--

☆製本された書類	☆細断できません。
☆クリップで綴じた書類	☆クリップを外してセットしてください
☆雑誌類	☆細断できません。
☆複数に折った書類 (2ツ折を1枚までは可能)	☆手差し投入で細断してください。
☆A5サイズ以下の小さな紙	
☆縮れた紙	
☆湿った紙	☆乾かした後、手差し投入で細断してください。
☆封筒書類	☆細断できません。
☆プラスチックシート	
☆光沢紙・ラミネートした書類・厚紙	
☆糊のラベル・シール	

最大収容枚数
(オートフィード時)

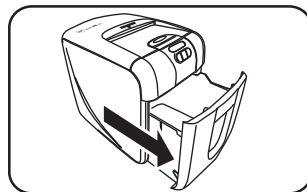
コピー用紙 (64g/m²-80g/m²)

約130 枚

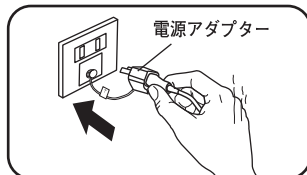
オートフィードモード(自動給紙細断)

- ①ダストボックスを本体から引き出し、ゴミを処分して、ダストボックスを空にしてください。

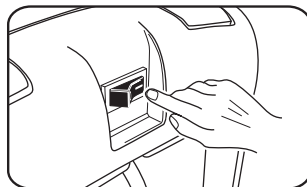
※紙詰まりの原因となりますので、必ずダストボックス内のゴミを処理してからオートフィードモードでの細断をしてください。



- ②付属の電源アダプター(アース端子付)のアース端子をアース接続した後に、コンセント(AC100V)に差し込んでください。

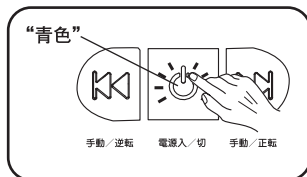


- ③マシン背面にある主電源スイッチを“入(I)”にしてください。

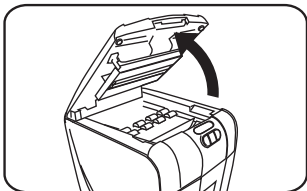


- ④電源入/切ボタンを押してください。電源入/切ボタン(青色)が点灯し、細断が可能になります。

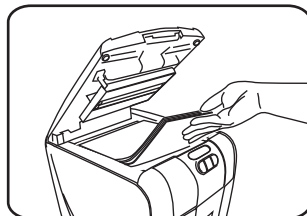
※2分間使用しないと、電源入/切ボタン(青色)が消え、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入/切ボタンを押してください。



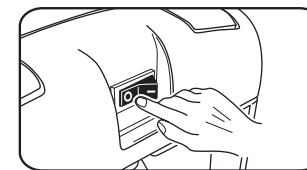
- ⑤トップカバー開ボタンを押して、トップカバーを開け、トップカバーを垂直なるまで引き上げてください。



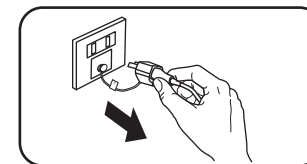
- ⑥フィードトレイに細断する書類を重ねて置ってください。この時、トレイのからはみ出さないようにセットしてください。



- ⑥マシン背面にある主電源スイッチを“切(O)”にしてください。
その後、コンセントを抜いてください。



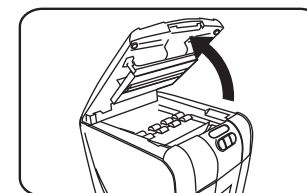
- ⑦電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜き、アース線を取り外してください。



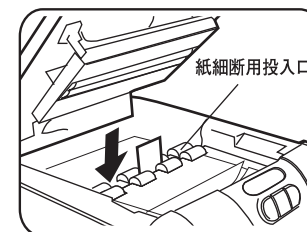
★小さなサイズの紙類の細断

レシート等の小さな紙類は、下記の方法で細断してください。

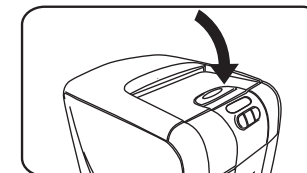
- ①トップカバー開ボタンを押して、トップカバーを開けます。



- ②紙細断用投入口ローラーの間にあるオートスタートセンサーに、直接当たるように細断する小さなサイズの紙類を奥まで差し込んでください。

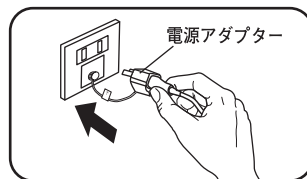


- ③トップカバーを閉じます。細断がスタートします。

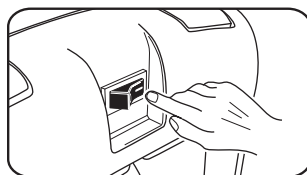


ノーマルモード(手差し細断)

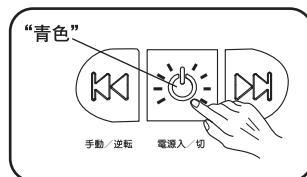
- ①付属の電源アダプター(アース端子付)のアース端子をアース接続した後に、コンセント(AC100V)に差し込んでください。



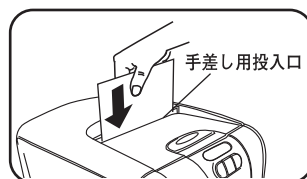
- ②マシン背面にある主電源スイッチを“入(Ⅰ)”にしてください。



- ③電源ボタンを押してください。
電源ボタン(青色)が点灯し、細断が可能になります。
※2分間使用しないと、電源入/切ボタン(青色)が消え、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入/切ボタンを押してください。

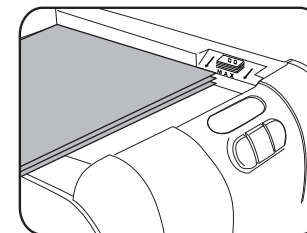


- ④手差し投入口中央にあるオートスタートスイッチを通過するようにして、紙を立てた状態で奥深くまで投入してください。



<トレイ最大収容枚数>

※約130枚の書類(コピー用紙 64g/m²~80g/m²)を重ねることができます。トレイ内のガイドを参照してください。

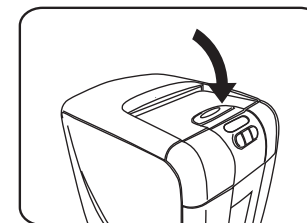


⚠ 注意



収納トレイに書類をセットする場合、絶対にMAXのラインを超えないようにセットしてください。
※マシンの故障の原因となります。

- ⑦トップカバーを押してしっかりと閉めてください。閉めた後、フィーダーが自動給紙して、細断を開始します。



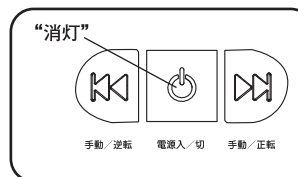
⚠ 注意



トップカバー後部には手や物を置かないでください。
※カバーの開閉時に生じるすき間に入ると、負傷したり、マシンの故障の原因となります。

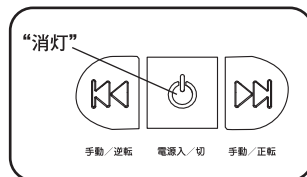
- ⑧終了後は、必ず電源入/切ボタンを押して、電源を切ってください。

※細断が終了しますと、約2分後に電源ボタン(青色)が消灯して、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入/切ボタンを押してください。

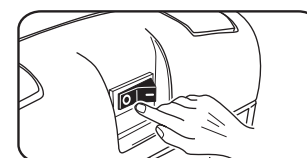


- ⑤終了後は、必ず電源入/切ボタンを押して、電源を切ってください。

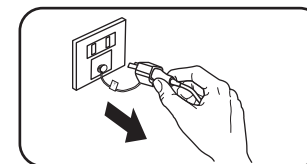
※細断が終了しますと、約2分後に電源ボタン(青色)が消灯して、自動的に待機状態になります。再度使用する場合は、電源入/切ボタンを押してください。



- ⑨マシン背面にある主電源スイッチを“切(○)”にしてください。



- ⑩電源プラグをコンセント(AC 100V)から抜き、アース端子を取り外してください。



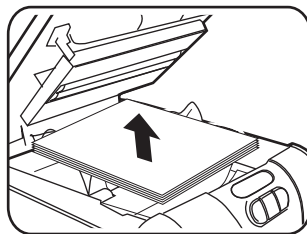
紙詰まりを起こした時（オートフィードモード時）

万一、紙詰まりが発生した場合は、下記手順でカッターを逆転させて詰まったものを引き出してください。

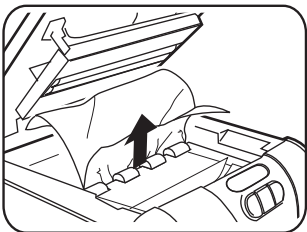
紙詰まりを起こした場合、また過投入の場合は過投入／紙詰まりランプ(赤)が点灯します。

84

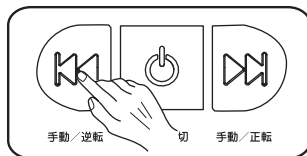
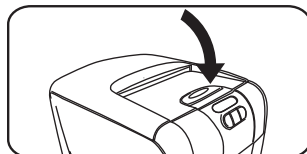
① トップカバー開ボタンを押して、トップカバーを開けて、トレイ内の紙詰まりしていない紙を取り除いてください。



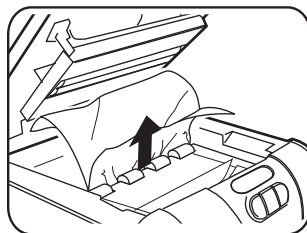
② 詰まった紙を取り除いてください。



③ トップカバーをしっかりと閉めて、手動逆転ボタンを数秒間押してください。トップカバーが閉まっていませんと、手動逆転させることができません。



④ 再度、トップカバーを開けて、詰まった紙を引き出してください。



6. ご使用方法＜ノーマルモード＞

細断不可アイテム

本機は紙類の細断専用機です。

下記のものについては細断しないでください。故障の原因となります。

(※ノーマルモードでの細断では、ステープルは必ず取り外してから細断してください。)



ステープル不可



ポリ袋不可



封筒書類不可
※糊・粘着シール等が
付いたものを含む。



クリップ不可



ボタン電池不可



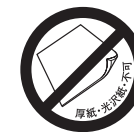
雑誌類不可



布不可



クリップ不可



厚紙・
光沢紙不可



カーボン紙・
ノンカーボン紙
不可



プラスチック
シート不可



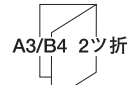
湿った紙不可

ノーマルモードでの本機の定格細断枚数は**6枚**(50Hz/60Hz)となっております。

投入口に入らない大きいサイズの紙類を細断する場合は2ツ折にしてください。
その場合、2枚換算となります。

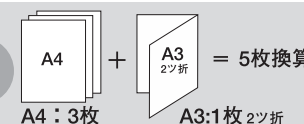


1枚換算



2枚換算

例



A4: 3枚

A3: 1枚 2ツ折